



本州四国連絡高速道路株式会社

兵庫県神戸市中央区小野柄通4-1-22 / <https://www.jb-honshi.co.jp/>

～出展技術：本州四国連絡橋の維持管理技術～

200年以上利用される橋をめざして

JB本四高速グループは、本州四国連絡高速道路が瀬戸内地域における交通の大動脈としての役割を確実に果たしていくことを最大の使命とし、明石海峡大橋をはじめとする世界最大規模を誇る長大橋梁群の200年以上の利用を目指して、維持管理の高度化・効率化のための技術開発、アセットマネジメントの考え方を導入した体系的な予防保全に取り組んでいます。

また、長大橋梁技術のフロントランナーとして、建設から維持管理で培った技術やプロジェクトマネジメントのノウハウを活かし、国内外の機関から吊橋・斜張橋に係る業務を受託するなど、技術支援を行っています。



開通35周年を迎えた瀬戸中央自動車道

維持管理技術



～赤外線サーモグラフィによる非破壊検査～

車両の荷重を直接受ける鋼床版に発生する疲労亀裂と呼ばれる鋼材の割れは、橋の重大な損傷につながることから早期発見が重要ですが、鋼材は塗装に覆われており目視による鋼材の亀裂の発見が困難でした。このため、「赤外線サーモグラフィ」を用いて、路面から伝わる熱が亀裂部で遮断される現象（温度ギャップ）を利用した非破壊検査技術を開発し、効率的かつ高精度な維持管理を行うことができるようになりました。

技術支援

(令和4年度実績)



国内におけるこれまでの技術支援実績

委託者	業務内容
(独)国際協力機構	モンパサゲートブリッジ建設事業の国内支援委員会
高知県	魚梁瀬大橋の耐震補強に関する技術支援
広島県道路公社	安芸灘大橋の維持修繕計画に関する技術支援
兵庫県及び徳島県	大鳴門橋への自転車道等設置検討
十津川村	人道吊橋の維持管理に関する技術支援

